



継続は力なり

令和4年10月3日
小松市立南部中学校
校長 中野 務
TEL44-2560 FAX44-8160

南中生の絆をさらに深めよう

今年も運動会を成功裏に終えることができました。コロナ禍の中、3年間で種目等は少しずつ変わってきましたが、生徒会や3年生が中心となり今の形をつくってくれました。運動会ができなかった2年前の3年生が作った応援歌をしっかりと継承し、進化・発展させた運動会は、温もりや絆を大切にする南中生らしい感動に値するものでした。子供たちの豊かな感性や発想力、行動力に何度も感動を覚えました。1, 2年生の感想からも、3年生への感謝の思いが溢れており、運動会が終わった後もその思いに3年生が応える姿が至るところに見られました。また、クラスの中でも友人関係が広がり、絆の深まりが見られました。



【応援タイムの一場面】

今、学校では、前期から後期へリーダーが交代しました。そして、文化祭（合唱コンクール）に向けて取り組みを始めています。校内に歌声が響き、活気が溢れています。合唱は、歌が得意な人のための行事ではありません。得意な人は、苦手な人を支えてください。苦手な人は、周りの力を借りながら精一杯取り組んでください。クラスみんながお互いを励まし合い、全力を尽くしたなら、勝敗よりも大切なものに気づけるはずです。運動会で生まれたたくさんの絆がさらに深まることを願っています。

○「募金に感謝」

生徒会の発案により、国府・中海地区の豪雨災害による被災者支援のため、9月初めに募金活動を行いました。朝の登校時を中心に集めたところ、子供たちの善意として38,395円が集まりました。時を同じくして中海・国府中学校以外の全中学校でも募金活動をしていたので、小松市教育委員会が集約し、まとめてお送りすることになりました（10/2北國新聞掲載）。寄付金は、被災地支援制度や復興事業のため使われます。中海・国府中学校からも感謝の言葉が届いています。子供たちや保護者の皆様の温かいお気持ちに感謝します。ありがとうございました。

○小松市中学校新人総合体育大会

9月23～24日に開催され、1, 2年生が練習の成果を試しました。コロナが心配でしたが、ほとんどの生徒が無事に参加できたことに安堵しています。大会前の激励会では、各部で日頃から大切にしていることをキャプテンが宣言してくれました。緊張感溢れる本番でどれだけ発揮できたのでしょうか。結果は良いに越したことはありませんが、優勝が全てではありません。大会の成果と課題をしっかりと見据えて、すぐに行動を起こしてください。来春の本番に向けてのさらなる成長を楽しみにしています。

